

法政大学理工学部
電気電子工学科
教授 山内 潤治

電子情報通信学会「教育功労賞」の受賞

【受賞内容】

「光エレクトロニクス分野研究会への学生参加活性化と研究開発活動の啓発」

【賞の目的】

「人材の育成」の促進の観点から、「教育に関わる組織活動において特に大きな功労が認められたもの」を表彰

【受賞日】

2017年3月24日

【受賞に関連した経歴】

- ・「光エレクトロニクス研究会」専門委員、1999年5月から2010年5月
- ・「同研究会」副委員長、2010年5月から2011年5月
- ・「同研究会」委員長、2011年5月から2012年5月
- ・「同研究会」顧問、2012年5月から現在

【受賞理由】

1. 全国の光エレクトロニクス分野の研究に携わる学生、大学院生が自由に研究発表し討論できる場として、ポスター発表研究会（1泊2日）を企画した[1][2]。

現在、毎年4月に開催される恒例行事として定着し、6年目となった。今年も40名を超える参加者が集う熱気溢れる場として継続されている。

初日：参加学生全員による研究発表

研究発表に対して、学生たちも大学教員や産業界の技術者と等しく、1票の権利を行使できるユニークな表彰制度を設けた。表彰制度は、学生が能動的に他の学生の発表を聞くきっかけとなり、優秀な発表（内容に加えて発表態度や方法）を学ぶ機会となった。

：「光エレクトロニクス」をキーワードにして繋がる参加者全員の懇親会

大学や年齢の垣根を超えて「光エレクトロニクス」をキーワードにした情報交換の場を提供した。

二日目：大学、産業界で著名な方の講演会

研究を深め、促進するための貴重な動機付けの場となった。

2. 毎年、春と秋に開催される総合大会、ソサイエティ大会、さらに月単位で開催される研究会で、若手の研究者を対象に、通算11回の招待講演、依頼講演を行い、研究開発活動の啓発に寄与した[3]。

【活動報告】

- [1]山内潤治、【寄稿】「もう一つの光エレクトロニクス」、電子情報通信学会ニュースレター、vol.145、p.12、2011年7月
- [2]山内潤治、【報告】「リーダーからファシリテーターへ」、電子情報通信学会ニュースレター、vol.148、p.20、2012年4月
- [3]山内潤治、【研究室紹介】「光導波路・伝搬問題に取り組んで：電磁波解析の光と影」、電子情報通信学会ニュースレター、vol.163、p.21、2016年10月

【ゼミ生の受賞実績】

- 1. 大機慎太郎、2016年度学生優秀研究賞、周期構造を利用したプラズモニックブラックポールのFDTD解析
- 2. 福井崇人、2012年度学生優秀研究賞、誘電体グレーティングに挟まれた金属薄膜構造の波長特性
- 3. 北澤和貴、2012年度ポスター優秀賞、五角形の高屈折率部から成るスロット導波路のスポットサイズ
- 4. 若林佑、2011年度学生優秀研究賞、傾斜入射時における周波数分散性媒質を含む周期構造のFDTD解析
- 5. 若林佑、2011年度学術奨励賞、風車形状素子を配列した全誘電体平面キラルナノグレーティングの光学活性
- 6. 若林佑、2011年度エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞、傾斜入射時における周期構造解析のためのLOD-FDTD法(Ⅱ)